



厚生労働省三重労働局

伊賀労働基準監督署

Press Release

報道関係者 各位

令和3年10月1日

【照会先】伊賀労働基準監督署

監督・安衛課長 松本健資

(電話) 0595-21-0802

忍者が忍にん体操で労働災害防止を呼びかけます。

伊賀労働基準監督署（署長久留原郁子）管内（伊賀市・名張市）における労働災害は長期的には減少していますが、令和2年は大幅に増加し、平成19年以降で最多を記録しました。増加の主な要因は、「細菌、ウイルス感染等」、「転倒」、「動作の反動、無理な動作」による労働災害の増加です。また、高年齢者（60歳以上）の労働災害も平成15年以降で最多を記録し、全体の約3割を占めています。令和3年8月末現在では、令和2年と比較し約11パーセントの増加となり憂慮される事態となっています。

伊賀労働基準監督署では、労働災害の減少を目指して「チャレンジアンダー210いが」推進運動（別添1参照）を展開しております。年間労働災害死傷者数210人未満を達成するためには、転倒災害や高年齢労働者の災害を減少させることが必須であり、そのための方策として、労働者の体力づくりや安全衛生教育等の活動が必要と考えています。

つきましては、株式会社竹中工務店が同社施工現場で、10月に開催する安全行事において、当署職員が、伊賀市独自の創作体操である「忍にん体操」を忍者姿で実演し、参加者に労働者の体力づくりや安全衛生教育の実施を呼び掛けます。

本行事での忍にん体操実演の様子を報道関係者の皆様に公開しますので、是非取材にお越しいただき、報道を通じて管内の労働者及び事業場のより一層の安全衛生意識高揚を図るためにご協力いただきたく、ご案内いたします。

記

- 1 日 時 令和3年10月11日（月）午後1時30分から午後3時00分
- 2 場 所 伊賀市ゆめが丘7-4-1
株式会社竹中工務店 ロート製薬(株)上野テクノセンター新工場
(C棟) 建設工事現場
- 3 その他 詳細は、別添2「実施要領」をご覧ください。



伊賀労働基準監督署作成キャラクター